

平成 28 年 9 月 9 日

株式会社 山陰合同銀行

「電子記帳台(窓口タブレット)」導入

株式会社山陰合同銀行(頭取 石丸 文男)は、お客様の利便性向上を目的に、「電子記帳台(窓口タブレット)」を米子支店の店頭に設置(注)しましたのでお知らせします。

(注)米子支店(米子市加茂町 2 丁目 104 番地)で電子記帳台を 9 月 7 日(水)から使用

記

1. 「電子記帳台」とは

電子記帳台はタブレット型のタッチパネルとタッチペンを利用し、申込書などを自動的に作成するのが特徴で、お客様はナビゲーションに従って必要項目を入力するだけでよく、初めての方でも簡単に操作ができます。署名もタッチペンで書き込むと、筆跡を申込書に印刷する仕組みとなっています。対象業務は普通預金新規口座開設、キャッシュカード申込み、インターネットバンキングサービス申込みとなります。



高齢のお客様にも入力しやすいよう記入枠を大きくしたほか、書き損じや記入漏れの防止にも役立ちます。また弊行にとっても事務処理の迅速化に伴うサービス向上につなげることができます。

2. 今後の展開

米子支店でのお客様の反応や事務の効率化などを検証・分析したうえで今後対象業務と導入店舗の拡大を検討します。

以上